

令和7年3月24日

釧路開発建設部

釧路町

津波浸水避難対策として道路の高架区間等を 活用した緊急避難路を整備しました

～津波等の大規模災害に備え、釧路町と協定締結～

北海道開発局では、防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5ヶ年対策プログラムにより、道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策として、切迫している日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震や激甚化する豪雨災害などに備え、津波や洪水からの緊急避難場所を確保するため、地方公共団体のニーズを踏まえ、予測浸水深より高い位置に整備されている直轄国道の高架区間等を緊急避難場所として活用するための避難施設の整備を推進しています。

このたび、新たに釧路町において避難路の整備が完了し、釧路町と釧路開発建設部は、災害時又はその恐れがある場合に地域住民等の緊急時の一時避難場所として、当部が管理する道東自動車道道路区域の使用について協定を締結しましたのでお知らせします。

記

- 整備内容 : 避難施設（避難路）の整備（詳細は別紙のとおり）
- 整備場所 : 釧路町別保原野南24線（道東自動車道 釧路東管理ステーション横）
- 協定の名称 : 災害時における道東自動車道道路区域の一部の一時使用に関する協定
- 協定締結日 : 令和7年3月12日

※ 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa00000050th-att/slo5pa0000005m6s.pdf>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

道路防災推進官 高橋 剛 電話 0154-24-7446（ダイヤルイン）

広報官 鈴木 亮 電話 0154-24-7354（ダイヤルイン）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



国土交通省



- 整備場所:北海道釧路町別保原野
- 整備延長:約170m
- 整備面積:約2500m²
- 避難場所の海拔:約5m
- 津波浸水高さ(海拔):約3.9m
- 想定される
避難対象地区:釧路町東陽地区
(約400人)
- 完成年月日:令和7年2月
- その他:釧路町地域防災計画に
位置付けされる予定

